

助産学概論

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座		
対象学年	3	区分・時間数	講義 12時間
期 間	前期		
単 位 数	1単位		

・学習方針（講義概要等）

助産学の基本理念を踏まえ、これまでの国内外の歴史の変遷や現代における助産師の役割を学ぶ。加えて、助産学の主な対象となる女性への支援に焦点をあて、おかれている社会的背景を考察しながら、現代における助産師の役割を理解する。具体的には、助産師が行うケアの理念、お産の歴史と文化、助産師教育の変遷、日本・世界の母子保健、助産実践の倫理、特別に支援を要する健康問題（不妊、ドメスティックバイオレンス等）および家族計画について学修する。

・教育成果（アウトカム）

助産師が行う助産実践に関する歴史の変遷や現代における社会的課題を理解しながら、助産師の役割を考察することができる。さらに女性の人権や実践場面で遭遇する主な倫理的課題についても理解することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：2, 3, 4

・到達目標（SBO）

1. 助産師の定義と助産ケアの基本理念について説明できる。
2. 日本におけるお産と助産実践の歴史の変遷と文化的特性について説明できる。
3. 女性の健康を守ることと女性の人権に関する歴史の変遷について説明できる。
4. 助産実践において起こりうる倫理的な課題に対して、自分なりの意見を述べるができる。

・ 授業日程

(矢) マルチ 3-A 実習室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
6/17	月	2	成育看護学講座	蛸崎 奈津子 教授	【助産師とは】 ・助産師の定義と特性について理解できる
6/21	金	3	成育看護学講座	蛸崎 奈津子 教授	【助産師が行うケアの理念】 ・助産師ケアの基本理念について理解できる
6/27	木	2	成育看護学講座	蛸崎 奈津子 教授	【現代のお産を取りまく社会情勢】 ・日本におけるお産を取りまく現代の社会情勢について理解できる
7/1	月	2	成育看護学講座	蛸崎 奈津子 教授	【お産の歴史と文化】 ・日本におけるお産と助産師の歴史的変遷と文化の特性について理解できる
7/4	木	2	成育看護学講座	蛸崎 奈津子 教授	【助産師教育の変遷】 ・日本および世界の助産師教育の変遷と現状について理解できる
7/8	月	2	成育看護学講座	蛸崎 奈津子 教授	【女性の健康と人権】 ・女性の健康を守ることと女性の人権について理解できる
7/11	木	2	成育看護学講座	蛸崎 奈津子 教授	【助産実践の倫理】 ・助産実践で起こりうる状況に対する倫理的課題について理解できる
7/17	水	2	成育看護学講座	蛸崎 奈津子 教授	【総括】 ・助産学の基本理念を基に、現代社会における助産師の役割について説明できる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	助産師基礎教育テキスト 第1巻 助産概論	山本あい子 責任編集	日本看護協会出版会	2019
教	助産師基礎教育テキスト 第2巻 女性の健康とケア	吉沢豊予子 責任編集	日本看護協会出版会	2019

・成績評価方法

課題レポート100%にて評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

シラバスに記載されている授業内容および到達目標を確認し、予習した上で講義に臨むこと。講義終了後は教科書や配付資料、ノート等にて復習を行い、次回の講義に臨むこと。各授業に対する事前学修時間は最低30分を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

課題等については、次の授業等で適宜コメントを伝える等、学生にフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

助産師（別表2）：基礎助産学

看護師（別表3）：統合分野 看護の統合と実践

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影